

五行易の用神・判断がすぐできるようになります！

平成26年9月刊

光山流
秘伝

五行易の真髄

光山師直伝・五行易秘伝の集大成

大熊光山 口述
佐藤六龍 著

A5判・上製函入

定価 二一、六〇〇円(税込) 送料 六〇〇円(前金・代引共)

■ 師直伝の光山流五行易の大秘伝

■ 長年にわたる大熊光山先生講義ノートの公開

■ 光山流五行易・六龍五行易の集大成

■ 五行易の素晴らしさ・面白さを再確認させられる書

中国の五行易(断易)の二大聖典と称される『増刪卜易』・『卜筮正宗』は、五行易理論の基礎となるものであり、この二書が果たした役割には大きな功績があります。

一方、理論を述べた章では明快に理論が整理されているながら、実占例の章では、その理論に反するような断が成されている、というように、功罪相い混じる点があります。

本書は、先に述べたような中国書特有の占断に疑問の残る占例を抜き出し、正しい五行易の理論と光山流の易解釈で、再検討した書です。

佐藤六龍先生が、大熊光山師から長年にわたり、個人的に講義を受られたものです。

そこには、重要な光山流秘伝や、五行易の大原則に則した、真の五行易の用い方が述べられており、五行易の真髄を著した書です。

——用神多現の場合の用神の決め方秘伝・空亡の見方秘伝・三合会局の見方秘伝・月破の見方秘伝・寿命占の見方特別秘伝——などが、占例の断の随所に、述べられています。

本書の後半には「光山流五行易のすべて」と題し、光山流五行易の基本理念や秘伝が整理されています。

◎秘伝・占的と六親の官鬼・子孫 ◎忌殺帯身は正しいか？

◎秘伝・『卜筮正宗』の誤り ◎不応卦について

◎光山流五行易十二条

☆ 発刊記念割引 ☆

期間：本年11月30日迄(消印有効)

- ①グリーン会員：12,960円・40%引
- ②現講習生：15,120円・30%引
- ③特別会員・旧講習生：16,200円・25%引
*年会費を本年度迄継続納入の方に限
- ④季刊五術購読者：18,360円・15%引
- ⑤一般の方：19,440円・10%引

◆割引期間中：送料サービス

*価格は税込



本書は中国の『増刪卜易』（野鶴老人著）の中から、占例を出し、それを解釈したものです。この『増刪卜易』はすでに発刊されていますが（香草社刊『五行易最奥秘儀・続五行易最奥秘儀』）、その中から、問題を多く含んだ占例と易卦を出し、それを正しい五行易理と光山流の易解釈で説いたものです。

この原稿は、大熊光山先生から小生が個人的に、野鶴の占例講義として長年かかって講義を受けたノートを基にして書き上げたものです。小生が光山師の説をまとめたものと解していただけで結構です。小生の独自の説などは一点もありません。

光山師は、中国の占術で独自に解釈できたり、新解釈などは、まずない。自己が発見したように考えていても、必ずどこかにあるものだ。——と言われていました。

すでに野鶴の訳書が二冊出版されているのに、いまさらと、小生はノートをかかえ逡巡していたのです。この話を田淵英宗先生にふともらした時、「どんな形でもよい。ぜひ出版して我々に見せてほしい。野鶴の書をすでに読んだ人、という条件をつけてもよいではないか。ともかく、光山師の五行易の説を埋もらせておくのは、先生（六龍）の罪である。一刻も早く、どんな形でもよいから公開してほしい」という要望がありました。

そこで小生は田淵先生の言を入れ、ノートの整理にかかったのです。やり出してみると、五行易のおもしろさが一段と増しました。と同時に、子平術と同じく、中国人のいい加減さ、正しい理をあげながら、それに反する矛盾を平気で書いているズルさに閉口しました。

光山師は、そこを上手に整理してあるのです。本書によって、日本における五行易の正しい卦の読み方が、どなたにも習得できるはずです。

野鶴の占例と卦を出し、占断文をあげて、それを縦横に解してあります。

また、その卦に応用した五行易の理を、占例とは別に、こと細かに説いてあります。ゆえに占例を読みながら、易卦の読み方をどうするか？ 原理をどう応用するか？ がわかるはずです。（後略）

【ご注意】

***本書の前に、必ず、五行易の入門書『五行易活用秘儀』と、『五行易用神集』『五行易秘訣実占例集』を、お読みください。**

284

この原神についての特殊な見方について記します。

古書の寿命占の項に、

「原神ハ安静ニオイテ宜シ」

とあります。

寿命占では、原神を生命の滋生の源としています。そしてその原神は、旺相していて安静なのを喜び、動くことを好みません。この動く、ということも一般のように進神・回頭の生・長生になるとしても、やはり好みません。

一般占は、原神が発動したり、吉に動けば、動いて力があり、用神に吉作用をあたえます。寿命占で動くことを嫌うのは、動けばすでに期限（限度）があることを意味しているからです。原神でも動く作用でも、永久的なことはあり得ないという、世の大原則を考えたらすぐわかることです。一般占の卜は、そんな長期的なことを問うではありません。

ところが、寿命占は長ければ長いほどよいという永久性を願って問うものなの

組見本